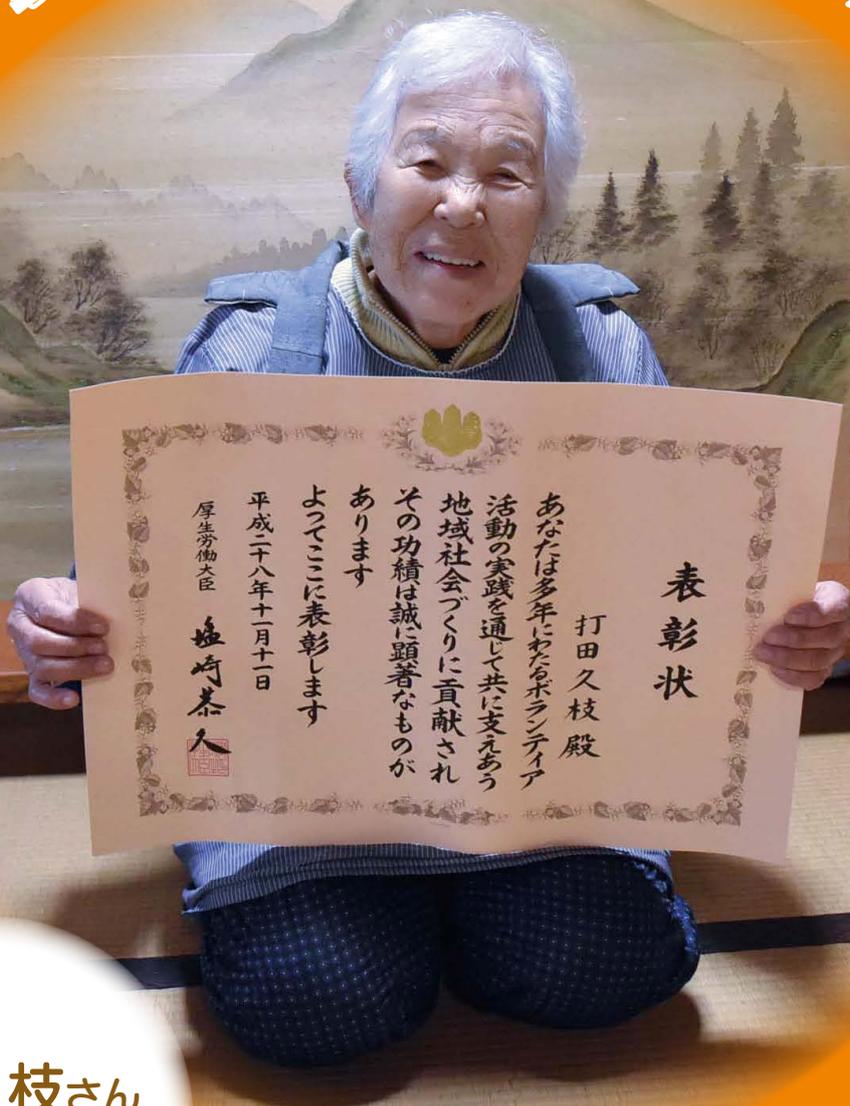


亀山から3年連続！ボランティアで厚生労働大臣賞を受賞



打田久枝さん
(布気町)



新年のご挨拶

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会
会 長 榎谷 英一

〇〇



亀山市社会福祉協議会 役員名簿

役 職	氏 名	社会福祉事業知識経職名
会 長	榎 谷 英 一	元学校長
副会長	草 川 和 久	亀山市民生委員児童委員協議会連合会
副会長	江 藤 定 勝	元関町教育長
理 事	一 見 八 郎	亀山市自治会連合会
理 事	廣 森 正 幸	亀山市自治会連合会
理 事	山 内 秀 喜	亀山市地域まちづくり協議会連絡会議
理 事	広 森 繁	亀山市
理 事	佐久間 利 夫	亀山市
理 事	藤 岡 功	亀山市民生委員児童委員協議会連合会
理 事	野 田 明 美	亀山老人保健施設
理 事	久 留 原 進	亀山市老人クラブ連合会
理 事	古 川 鉄 也	社会福祉協議会事務局長
監 事	濱 口 治 男	税理士
監 事	後 藤 克 己	亀山市民生委員児童委員協議会連合会

第12回社会福祉大会を開催しました

11月24日(木) 亀山市文化会館内中央コミュニティセンターにおいて、市と市社会福祉協議会の共催で、「第12回亀山市社会福祉大会」を開催しました。市内における福祉関係者200名以上の方々にご出席いただき、民生委員児童委員、保護司、社会福祉施設職員・団体、福祉委員、ボランティア、自治会など長年地域福祉に貢献されている22名13団体の表彰を行いました。

記念講演にはNHKプラネット中部支社制作事業部長 黒川 敬 氏をお招きし、「ご近所力アップの秘訣」と題し、黒川様の番組制作



での体験談を通し、地域で起こる難題を自分たちで解決する地域力を向上させるための心構えや方法についてご講演いただきました。亀山市において更なる地域福祉の推進のため、大変貴重なお話を聞くことができました。

第12回亀山市社会福祉大会被表彰者・団体 (敬称略・順不同)

亀山市長表彰

◆社会福祉関係団体・施設等功労者 2名

渡邊 昭彦 松上 博則

◆ボランティア功労者 6名

倉田 博子 波田 雅二 糸井 ふみ子

坂 佐代子 長谷川 貴美子

西川 勇子

亀山市長感謝

◆社会福祉事業寄付 1団体

忍田弘法院弘志会

亀山市社会福祉協議会会長表彰

◆民生委員児童委員功労者 1名

濱口 博民

◆社会福祉施設・団体等功労者 4名

真瀬 直子 服部 博子 草川 幸

服部 功

◆福祉委員功労者 1名

山口 喜久江

◆地域福祉活動功労者 1名

北澤 征子

◆ボランティア功労者 1団体5名

小坂 久子 井上 喜代 坂 裕文

勝田 ミツ 三谷 さち子 福祉サポート隊

亀山市社会福祉協議会会長感謝

◆社会福祉事業寄付 2社2団体2名

株式会社 スズカ

トヨタL&F中部株式会社

古河電気工業労働組合三重支部青年部

三重県遊技業協同組合亀山支部

櫻井 潤一

三谷 芳春

◆社会福祉協助者 9団体

下庄自治会 小川町自治会 井尻町自治会

上野町自治会 加太中在家自治会

若山町自治会 鷺山自治会 野村第一自治会

西町一丁目自治会

亀山市には、私たちの生活の身近なところで活躍している、福祉に関わる方々がたくさん存在します。「社協だより」では、それらの団体や活動について紹介します。

厚生労働大臣表彰受賞

打田 久枝 さん (92)

亀山市から3年連続
厚労大臣表彰受賞!



布気町の打田久枝さん(92)がボランティア活動を積極的に行い、地域の福祉向上に貢献されたことをたたえるボランティア功労の厚生大臣表彰を受章されました。

打田さんは昭和60年から約31年にわたって、清和荘（現清和の里）にて地域交流ボランティアとして活動されています。また現在もボランティアグループ亀の会メンバーとして適応指導教室に通う児童との交流を続けるなど、高齢でもセニアカーに乗り、自ら進んで活動される様子は、他のボランティアさんの身近な目標となっています。

Q 受賞の感想は？

A ありがたいです。長生きしたおかげだと思っています。元気な体に産んでくれた両親に感謝しています。

Q やりがいを感じる時は？

A 手づくり作品を喜んでもらうことです。作品の収益で不登校児との交流会をしています。交流していた子が学校に行けるようになった時、とても嬉しかったです。元気にしているかなと、今も思い出します。

Q 活動の長続きのコツは？

A みんなが仲良くすることです。仲間がいてくれたからこそまで来られました。また家族が活動を理解し、支えてくれたことにも感謝しています。

Q 元気の秘訣は？

A 起きがけに1杯、水を飲むことです。また週に3回のゲートボールや、サロン活動に参加することもボランティアと並んで生きがいになっています。

Q 今後の目標は？

A これからも活動を続けたいと思います。元気で寝たきりにならないで、長生きしたいなと思います。



市長との対談の様子

廣森さんの活動



手づくり作品の数々

- 「清和友の会」にて施設入居者の生きがいづくり活動
- 「亀の会」中心メンバーとして適応指導教室に通う児童と交流
- 「在宅福祉ネットワーク愛里寿」での様々なイベント協力活動
- 手作り作品を保育園や老人施設へ贈呈

問い合わせ先：亀山市ボランティアセンター TEL 82-7985

社会福祉協議会 活動紹介

あいあい祭り2016 ～であい ふれあい ささえあい～



今回で17回目となる「あいあい祭り」があいあい及び医療センターで開催され、1,800の方が来場されました。

華やかなステージ発表、健康・福祉・医療・地域に関連した体験コーナーや飲食ブース、作品販売ブースなどを楽しむ人で賑わいました。

あいあい笑顔のつどい



合計216名の方が参加され、神辺保育園、野登ルンビニ園の園児による発表や、亀山高校総合生活科の生徒によるオペレッタ、制作活動などを楽しんだ後、食生活改善推進協会による手作り弁当がふるまわれました。午後は川崎瀧進絵会の民謡を楽しみました。

対象者の増加により、今年で本事業は休止となります。

福祉教育



神辺小学校の土曜授業にて授業を行いました。1～3年生はアイマスクを着用しながらのサウンドテーブルテニスと点字ブロックの体験を、4～6年生には「街の生活しづらい人はどんな人？」をテーマにした学習を通して「地域で助け合うことの大切さ」を学んでもらいました。

街頭募金



10月1日から、赤い羽根共同募金活動が始まりました。市内中学校、高校の協力のもと、市内スーパーと「あいあい祭り」「食の祭典」にて募金活動を実施しました。

今後も「亀山大市」や「ヒューマンフェスタ」などで募金活動を実施する予定です。



赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

平成28年度 赤い羽根共同募金 実績報告

7,599,115円 (12月1日現在)



皆様には、本年度も温かなご支援とご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。

●つくしの家 絵画展を開催しています

亀山地区労働者福祉協議会のみなさまのご協力のもと12月1日(木)～1月中旬まで亀山、津、松阪の労働金庫の展示スペースにつくしの家の利用者が描いた作品を展示しています。ご近くにお寄りの際にはぜひご覧ください。なお2週間ごとに各店舗の展示作品が変わります。

●子育て応援！ 親子リョウリ教室を開催します

料理を通じて親子で交流し、絆を深めませんか？

と き 平成29年2月〇日(〇)

10:00～13:00

と ころ あいあい2階栄養指導室

講 師 ○○○○

対 象 者 2歳児から就学前の幼児とその保護者
(兄弟姉妹の参加も可能、託児あり)

募集人数 30人(先着順)

参加費 無料

申込期限 2月〇日(〇)

【申込み・お問い合わせ】

地域福祉係 TEL 0595-82-7985

●入れ歯リサイクル事業に ご協力ください！

不要になった「入れ歯」をご寄付ください。リサイクルをしたその収益金がユニセフを通じて世界の子どもたちへの支援に役立てられます。ぜひ、ご協力お願いいたします。

リサイクル対象	
① 入れ歯	歯にかぶせた金属
	歯に詰めた金属
	歯と歯をつないだ金属
② 使っていないアクセサリー	

入れ歯回収場所

- 総合保健福祉センター
あいあい
(西口玄関自動ドア横)
- 健康づくり関センター



善意の寄付 (平成28年9月1日～平成28年11月30日まで)

在宅福祉ネットワーク愛里寿様

お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させていただきます。厚くお礼申し上げます。

亀山市の福祉指数 (平成28年12月1日現在)

市総人口 49,854人	65歳以上の人口 12,554人 (男性 5,595人 女性 6,959人)
世帯数 20,695世帯	18歳以下の人口 8,962人 (男性 4,577人 女性 4,385人)
	高齢化率 25.2%

印刷
株式会社 一誠堂

リサイクル適性(A)

再生紙を使用しています。